

# 1 単元名 第4学年 「産業の様子【水産業】」

## 2 本時の計画（副読本 P23～25, デジタルコンテンツ No8, 11-8 ）

### (1)本時のねらい

新潟県の水産業について、主な水産物の種類や漁獲量、産地の分布を調べることを通して、県内の水産業の特色を理解することができる。（知識・技能）

### (2)本時の展開

学習活動	○教師の働き掛けと・予想される児童の反応	◆指導上の留意点■評価
<b>導入（5分）</b> 1 予想する。  2 学習課題を設定する。	○新潟県では、どんな魚がたくさん獲れるだろうか。 ・まぐろ ・ぶり ・さけ ・あゆ ○その魚はどこで獲れるだろうか。 ・佐渡 ・日本海 ・川でもとれる  <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>&lt;学習課題&gt;</b>  <b>新潟県では、どこで、どんな魚が多くとれるのだろうか。</b> </div>	◆新潟県で、どんな魚が、どこで獲れるのかを予想させる。
<b>展開（32分）</b> 3 漁獲量の多い市町村や魚の種類を調べる。  4 魚がよく獲れる理由を調べる。  5 「育てる漁業」（かきの養殖）について調べる。  6 海以外で獲れる魚を調べる。	○副読本で調べる。 ・新潟市が一番、水あげ量が多い ・陸から近いところ（沿岸）が多い ・かにが一番多い。・あじ、ぶりも多い ○なぜ、新潟市や佐渡で多く魚が獲れるのだろうか。 ・暖流の影響 ・プランクトンが多い。 ・藻場や漁礁という魚のすみかがある。 ○魚を獲るだけでなく育ててもいる。 ・かきは1年かけて大きくなる。 ・害になる貝を熱湯に付けて取る。 ○魚が獲れるのは海だけではない。 ・さけは川に戻ってくる・見る魚もいる	◆P23・24 ◆調べたことをノートに書くようにさせる。  ◆藻場や漁礁に触れ、水産業にかかわる人たちは、水産資源を守っていることを押さえる。 ◆デジ8  ◆P25 ◆デジ11-8
<b>終末（8分）</b> 7 まとめをする。  8 振り返りをする。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>&lt;まとめ&gt;</b>  <b>新潟県では、新潟市沿岸で、かに・あじ・ぶりがよくとれる。</b> </div> ○ふり返りを書く。 ・新潟県でたくさん魚が獲れる理由は、暖流の影響で暖かい、冷たい所の両方の魚が獲れるからだと分かりました。	■魚がよく獲れる理由（海流・プランクトン・藻場・漁礁）を具体的に挙げて説明している。